

JAFSAとは？

NPO法人JAFSA(国際教育交流協議会)は、1968年に設立され、2003年に特定非営利活動法人(NPO)法人格を取得した非営利団体です。大学・教育機関・企業など約330の団体をメンバーとした、国際教育交流分野では日本唯一・最大のネットワーク組織です。日本の大学のグローバル化促進を支援し、人材育成、海外とのネットワーキングなどの事業を展開しています。

JAFSAの活動は主に国際交流に直接携わる大学メンバーが実施しています。また、政府系機関、在日海外公館、各種教育機関、企業(ソーシャルビジネスパートナー(SBP))などさまざまなジャンルの機関から構成され、国際教育交流に深く関わっています。今や高等教育のグローバル戦略において、大学のみならずオールジャパンとして取り組まなければならない状況となっています。



団体正会員
大学・高専数

230校以上



在日海外公館
各種教育関連団体

約50団体



賛助会員
(SBP)

約50企業



海外フェアへの
年間出展団体

約80団体



メールリスト読者数
(団体正会員・SBP)

5,000以上



来日する留学生の
所属大学カバー率

約90%



国内年間イベント
(研修・セミナー)

30回以上

会員種別	年会費(24年度) 『大学・高専』学生数(学部・大学院合計)	
	団体正会員 (大学、高専、日本語学校等の学校・教育機関、国際教育交流に関わる非営利団体(財団法人、社団法人、NPO、NGOなど))	20,000名以上
10,000~19,999名		¥150,000
1,000~9,999名		¥120,000
500~999名		¥100,000
500名未満		¥60,000
日本語学校、専修学校		¥50,000
団体賛助会員 (国際教育交流に関わる企業)	在日公館、海外大学、教育機関	¥100,000
	プラチナ会員	¥500,000
	シルバー会員	¥300,000
	スタンダード会員	¥100,000

※年会費は「年度締め」で、毎年「4月1日から翌年3月末日まで」の1年間です。年度途中のご入会でも、引きや月額払いはありません。

特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

団体・事業案内

Diversity, Dynamics, Development

2024年8月発行



事業(1)：グローバルネットワーキング

海外フェア(海外諸団体の年次大会)でのブース展開・セッション発信のトータルオーガナイズで、日本の大学をプロモートし、国内外の団体・機関の連携を推進します

JAFSAは、世界各国の国際教育交流団体との連携を図るとともにNAFSA、EAIE、APAIEの3大海外フェアへ参加しています。海外フェアでは、世界各地の国際教育関係者が集い、提携の促進、担当者の研修・育成、ネットワーキング強化などを目的としたさまざまなイベントが実施されます。またブースを出展している大学・機関のブランド力を高め、大学間同士・国際関係担当者同士が顔を合わせて活発に打ち合わせを展開するのが大きな特徴です。



事業(2)：人材育成

国際交流業務に携わる方に向け、研修・セミナーの企画・運営を行っています

国際教育交流の現状に合わせて、特に会員大学の職員を対象にした研修を実施しています。人気の高い「初任者研修」は大学内で異動の多い春期・秋期を中心に実施しています。ブリティッシュ・カウンシル共催の「実践英語研修」は基礎的な内容から中上級レベルまで間口の広いコースを実施して好評を得ています。その他にも、レベル別・テーマ別でさまざまな内容の研修を実施しています。また、時事に応じたテーマのセミナーも定期的に開催しています。



NAFSA (2025年大会は米国・サンディエゴ市にて開催予定)



米国の国際教育交流NPOで1948年に設立され、JAFSAは長年にわたり協力関係にあります。毎年5月末には年次大会が開催され、世界中から約8,500人が参加します。JAFSAは2008年度より日本合同ブース“STUDY in JAPAN”を取りまとめた年次大会にブース出展しています。また2014年度より日本学生支援機構(JASSO)と共同でNAFSAのGlobal Partner制度最高位の“Global Adviser”となり日本の高等教育のプロモートに貢献しています。2024年ニューオリンズ大会では全24ブースを26大学+1校+2企業、そしてinformationブースとして出展団体の情報提供を担当したJASSOと共に日本合同ブース『STUDY in JAPAN』として出展参加しました。

EAIE (2025年大会はスウェーデン・ヨーテボリ市にて開催予定)

欧州の国際教育交流NPOで1988年に設立されました。毎年9月中旬ごろに欧州のいずれかの都市で年次大会が開催され、世界各国より6,000名以上が参加し、ヨーロッパの国際教育交流分野では最大のコンベンションです。NAFSAの年次大会同様、日本合同ブース“STUDY in JAPAN”としてブース出展しています。2024年のツールーズ大会はinformationブースとして出展団体の情報提供を担当するJASSOと共に16大学+1校で出展参加します。

APAIE (2025年大会はインド・デリー市にて開催予定)

2004年に設立したアジア太平洋地域の国際教育交流NPOで、毎年3月下旬に開催される年次大会には、アジア地域を中心に約2,500名が参加しています。JAFSAは2013年度(2014年3月)より日本合同ブース『STUDY in JAPAN』を取りまとめた年次大会にブース出展しています。2024年パース大会においてJAFSAは全14ブースを16大学+2機関と共に日本合同ブースで出展参加しました。またJAFSA団体正会員大学を対象に「JAFSA海外フェア奨励金」制度を設け、大学の若手職員のAPAIE年次大会への参加を後押ししています。

大学リーチフォーム

JAFSA会員のネットワークを活かし、3大海外フェア参加の海外大学や各国教育団体が、それぞれにプロモートするプログラムや団体の紹介等をJAFSA事務局を通じてJAFSA会員大学へ案内することができます。

「資料展示」参加

予算や人員体制等から、日本合同ブースでのブース出展が難しい団体でも、海外における年次大会で大学や推進するプログラムの紹介を紙面で展示できる「資料での大会参加」の場を設けています。設置資料を契機に、当該大学とのパートナーシップに興味を持った海外大学と後日のオンライン打合せなどに発展させていくことが狙いです。

JAFSA主催 研修プログラム『初任者・国際共修・DE&I研修』

主催研修の定番ともいえる「初任者研修」の他、レベル別・テーマ別でさまざまな内容の研修を実施しています。いずれも経験豊富な講師を迎え、講義とグループワークを通じて必要な知識と実践力を身に付けることができます。他大学・教育機関の担当者や情報交換ができ、人脈形成に大きく役立ちます(いずれもオンライン実施)。また年間を通して、会員の方のお声を反映し、時事に応じたテーマのウェビナーを数本実施しております。

2024年度

- 初任者研修
第1回：5/13-5/14
第2回：6/17-6/18
第3回：7/22-7/23
実施済。以降10/17-10/18、12/12-12/13に実施予定。
- 国際共修
秋期 実施予定。
- DE&I研修
全2回 10/25・2/28

ブリティッシュ・カウンシル共催『実践英語研修(全5回)』

英語を使用したビジネス対応力のスキル・アップを図るもので、主に大学の国際担当職員を対象として実施しています。英語を直接使用したグループワークが中心で、学内・留学生とのやり取りや協定校との交渉など現場に即したシーンを想定しており、実践的な内容になっています。英語教授法の資格を持ったネイティブ講師が指導にあたります。

2024年度

- 第1回：5/23 “Introductory Business English”
 - 第2回：7/11 “Supporting students Face-to-Face, by E-mail and on the Telephone”
- いずれもオンラインで実施済。以降10/3、11/14、12/5に実施予定。

JAFSA主催・共催・協力 セミナー・イベント

国際教育交流におけるニーズは幅広く、常に変化しています。そのようなニーズに対応したテーマをもとに、JAFSAではウェビナーやワークショップ、また他団体と協同でセミナーを開催しています。

2024年度

- 特別ウェビナー
7/8 「留学生のメンタルヘルスの現状と課題」
8/29 「留学生の日本語教育の現状と課題」
- 海外フェア振り返りウェビナー
5/16 「APAIE オーストラリア・パース大会振り返りウェビナー」
8/26 「NAFSA米国・ニューオリンズ大会振り返りウェビナー」
- 対面ワークショップ
7/4 「ネットワーキングミーティングin大阪」(大阪学院大学協力)
- 共催ウェビナー
7/11 「第3機関を通しての海外大学派遣先の拡大と学生サポート拡充」(SAF スタディ・アプロード・ファウンデーション共催)
- 広報協力
ICEF日韓大会2025(ICEF GmbH 主催)